

保管用

**THRIVE**

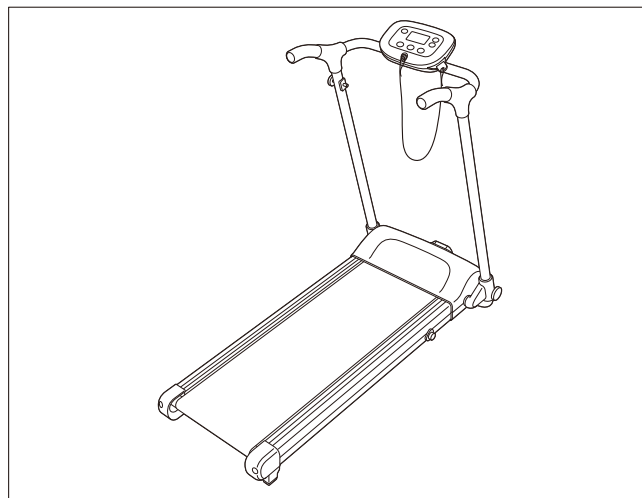
保証書付

# おうちウォーク

家庭用フィットネス機器

スライヴ 電動ウォーカー おうちウォーク FD-081

## 取扱説明書





このたびはお買い上げいただき、ありがとうございました。  
この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。  
とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。  
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに保管してください。

### もくじ



- 安全上のご注意……………1～4
- 各部の名称とはたらき……………5・6
- トレーニングの前に……………7・8
- 使用方法……………9・10
- ご使用前の注意……………10
- 使い終わったら……………11
- お手入れについて……………11
- 保管について……………11
- トレーニングについて……………11・12
- 歩行ベルトの調整方法……………13
- シリコンオイルの塗布について…14
- 故障かなと思ったら……………15
- 愛情点検について……………15
- 仕様……………16
- アフターサービスについて……………16・17
- 無料修理規定……………18
- 保証書……………裏表紙

# 安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。


 <b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 <b>注意</b>	人が損害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容




絵表示の例

	⊙記号は、「禁止」の行為を示しています。(左図の場合は分解禁止)
	●記号は、行為を強制・指示するものです。(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)



- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。




## 警告

 強制	<p>次の人は必ず医師や理学療法士に相談のうえ使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●心臓に障害のある人 ●悪性腫瘍のある人 ●背骨に異常がある人、曲がっている人</li> <li>●ペースメーカー等の電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人 ●血行障害、血管障害など循環器に障害がある人</li> <li>●現在腰痛の人や、過去に首、腰、足を痛めたことのある人 ●体温38℃以上の有熱期にある人(倦怠感、悪寒、血圧変動など急性炎症症状の強い時期や衰弱しているときなど)</li> <li>●脚、腰、首、手にしびれがある人 ●妊娠中や出産直後の人 ●安静を必要とする人</li> <li>●呼吸器に障害のある人 ●高血圧症の人 ●リハビリテーションで使用される人</li> <li>●内臓疾患(胃炎、肝炎、腸炎)等の急性症状のある人 ●皮膚に創傷のある人 ●糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人</li> <li>●腰痛(椎間板ヘルニア、脊椎すべり症、脊椎分離症等)のある人 ●糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人</li> <li>●変形性関節炎、リウマチ、痛風の人 ●その他医療機関で治療中の人、または身体に異常を感じている人</li> <li>●骨粗しょう症の人、脊椎の骨折、捻挫、肉離れなど、急性[疼痛性]疾患の人</li> </ul> <p>守らないと事故や体調不良をおこすおそれがあります。</p>
	<p>使用前には必ず本体固定ボルトで本体が固定され、がたつきがないか確認する。 守らないと転倒による事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>トレーニングする時は、必ず周囲に子供やペットがいないことを確認する。 また、歩行ベルトに手足・指などを入れない。 守らないと事故やけがのおそれがあります。</p>

 強制	<p>交流100Vで使用する。 守らないと火災や感電の原因になります。</p>
	<p>体重が100kg以上の人は使用しない。 守らないと故障や事故のおそれがあります。</p>
	<p>組み立ておよび折りたたみ作業をする際は周りに人がいない状況で行なう。 守らないと手や足の巻き込みやはさまれのおそれがあります。</p>
	<p>本体固定ノブがゆるんだ状態で使用しない。 守らないと転倒による事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>保管する際は、歩行ベルト固定ノブと補助スタンド固定ノブが確実に固定されていることを確認する。 守らないと転倒による事故やけがのおそれがあります。</p>
 禁止	<p>子供だけで使わせたり、自分で操作できない人に使わせない。 子供に本機で遊ばせない。また、幼児の手の届く範囲では使用しない。 守らないと事故やけが、故障のおそれがあります。</p>
	<p>次の人は使用しない。 医師から運動を禁じられている人(例:血栓(塞栓)症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症[皮下組織の炎症を含む]など)。 症状を悪化させるおそれがあります。</p>
	<p>トレーニング以外の目的には使用しない。 事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>ベルトの回転に逆らったり、足をひきずるような歩行をしない。 故障や事故のおそれがあります。</p>
	<p>本製品は1人用です。同時に2人以上で使用しない。 事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>本製品は歩行用です。走行用として使用しない。 故障やけがのおそれがあります。</p>
	<p>後ろ向きで歩行しない。 転倒によるけがのおそれがあります。</p>
	<p>動作中に乗り降りしない。 転倒によるけがのおそれがあります。</p>
	<p>安全に止まることができる速度の範囲で使用する。 守らないと安全装置が作動し急停止した場合、転倒によるけがのおそれがあります。</p>
	<p>電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 電源コードや電源プラグが破損した場合は、お買い上げ販売店または、お客様ご相談センターに修理の依頼をする。 そのまま使い続けると感電やショート、火災の原因になります。</p>
<p>電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、本体に巻きつけたりしない。 また、重いものをのせたり、熱器具に近づけて使用しない。 感電や火災の原因になります。</p>	
 分解禁止	<p>絶対に分解や修理、改造をしない。 発火や異常動作をして、けがをするおそれがあります。</p>

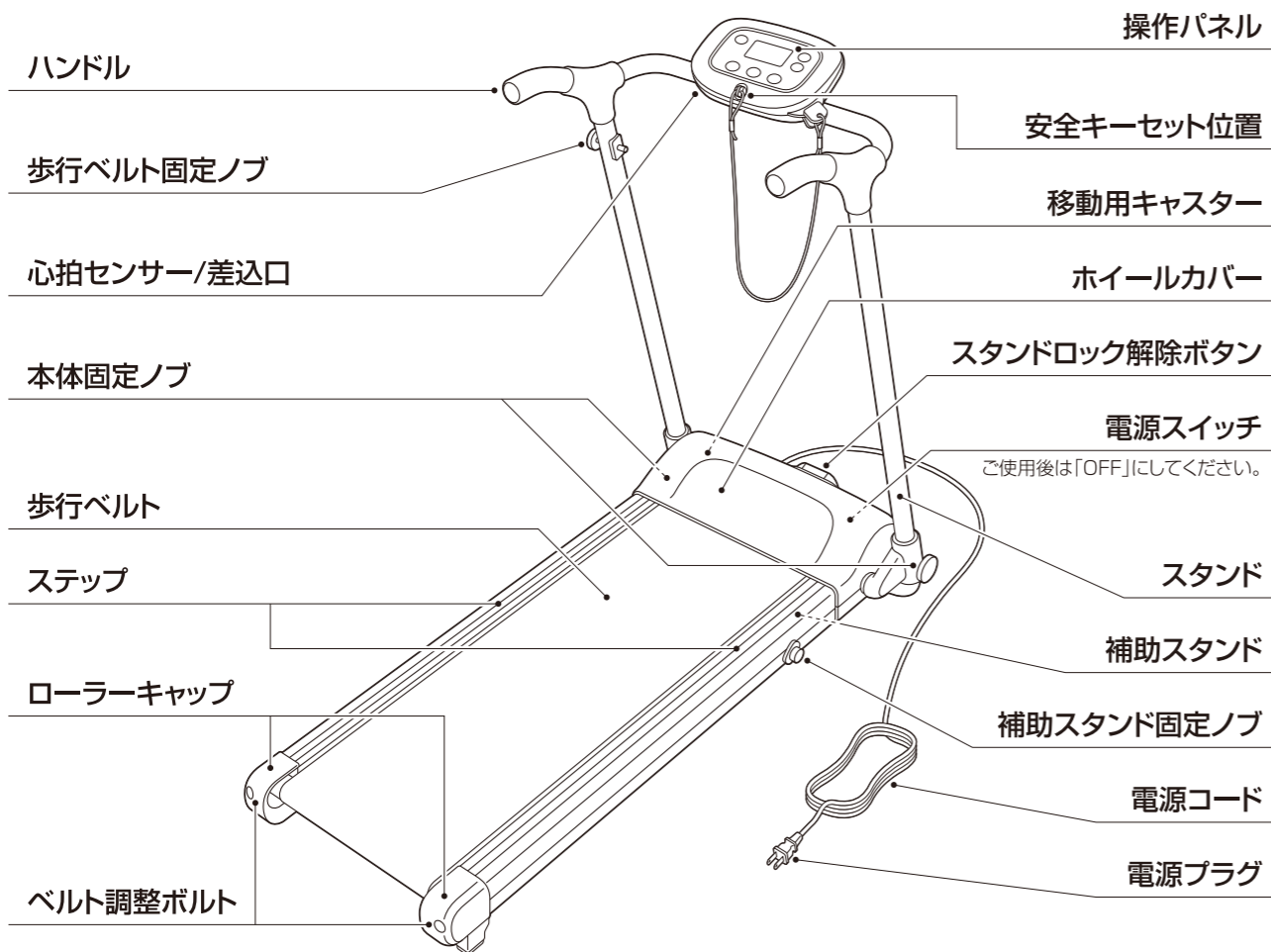
# ⚠ 注意

 強制	<p>使用中、身体に異常を感じたときはただちに使用を中止し、医師に相談する。 守らないと事故や体調不良をおこすおそれがあります。</p>
	<p>トレーニングに適した服装で使用する。 本製品への巻き込みを防ぐため、身体のサイズにあった運動着を着用する。 守らないと事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>素足・靴下・ストッキングで使用しない。ゴム底の運動靴を履いて使用する。 守らないと転倒によるけがのおそれがあります。</p>
	<p>トレーニングを行うときは、必ず安全キーを装着する。 守らないと事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>体力に自信のない人やはじめてお使いの人は、速度を遅くして使用する。 守らないと事故や体調不良をおこすおそれがあります。</p>
	<p>トレーニングするための十分な広さがあり、水平なかたい床の上に設置する。 守らないと転倒による事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>畳やフローリングなど傷つきやすい床の上で使用する場合は、マットなどを敷く。 守らないと床が傷つくおそれがあります。</p>
	<p>使用後はストップボタンで動作を停止させてから、電源スイッチを「OFF」にし、 電源プラグをコンセントから抜く。 守らないと子供のいたずらによる事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>電源プラグを抜くときは、接続部に無理な力をかけないよう、必ず電源プラグを持って引き抜く。 守らないと感電やショートのおそれがあります。</p>
 禁止	<p>キャスターで移動するときは、周囲の障害物を取り除き、歩行部固定ノブが 固定された状態であることを確認してからゆっくり移動する。 守らないと事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>畳やフローリングなど傷つきやすい床の上で移動させる場合はマットなどを敷く。 守らないとキャスターで床が傷つくおそれがあります。</p>
	<p>次のようなときは使用しない。 ● 疲労が激しいとき ● 酒に酔っているとき けがや体調不良をおこすおそれがあります。</p>
	<p>次のような症状が出たときは運動を中止する。 めまい、ふらつき、冷や汗、顔面蒼白、失神、嘔吐、心拍の乱れ、動悸、胸の圧迫感、けいれん、 腱・靭帯の痛み、骨折、その他心身の異常など。</p>

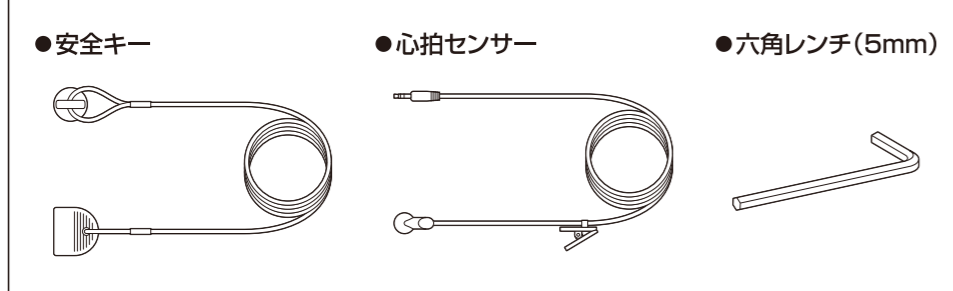
 禁止	<p>本品は家庭用です。学校、スポーツジムなど、不特定多数の使用者によって使用しない。 守らないと故障やけがのおそれがあります。</p>
	<p>食前、食後の1時間は使用しない。 体調不良をおこすおそれがあります。</p>
	<p>人または物をのせたまま移動しない。 守らないと転倒による事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>使用中以外でも歩行ベルトに手足・指などを入れない。また子供を本機に近づけない。 守らないと事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>ストーブなど火気の近くで使用したり、たばこを吸いながら使用しない。 また、ホットカーペット等の暖房器具の上で使用しない。 守らないと火災のおそれがあります。</p>
	<p>ピンやボールペンなどをポケットに入れたり、衣類に付けて使用しない。 守らないとけがをするおそれがあります。</p>
	<p>故障が見つかったら、すぐに使用を止め、電源プラグをコンセントから抜く。 守らないと事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>使用中に電源プラグを抜いたり、電源スイッチを「OFF」にしない。 守らないとけがのおそれがあります。</p>
	<p>お手入れの際はシンナー、ベンジン、アルコール、熱湯は使用しない。 変色・変形の原因になります。</p>
	<p>水などをこぼしたり、ぬれた身体で使用しない。 感電やショート、故障の原因になります。</p>
 水場使用禁止	<p>浴室など湿度の高い場所では使用しない。 感電や故障の原因になります。</p>
 電源プラグを抜く	<p>使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。 守らないとホコリや湿気で絶縁劣化による、漏電火災の原因になります。</p>
	<p>お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く。 また、ぬれた手でプラグにふれない。 守らないと感電ややけどのおそれがあります。</p>
	<p>停電のときは、電源プラグをコンセントから抜く。 守らないと停電復帰時に事故やけがのおそれがあります。</p>

# 各部の名称とはたらき

## 本体



### 付属品



●付属品は必ず本機に同梱されているものをお使いください。

## 操作パネル

### 電源ランプ

電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを入れると点灯します。

### 自動コースボタン

自動でプログラムを選択するときに押します。

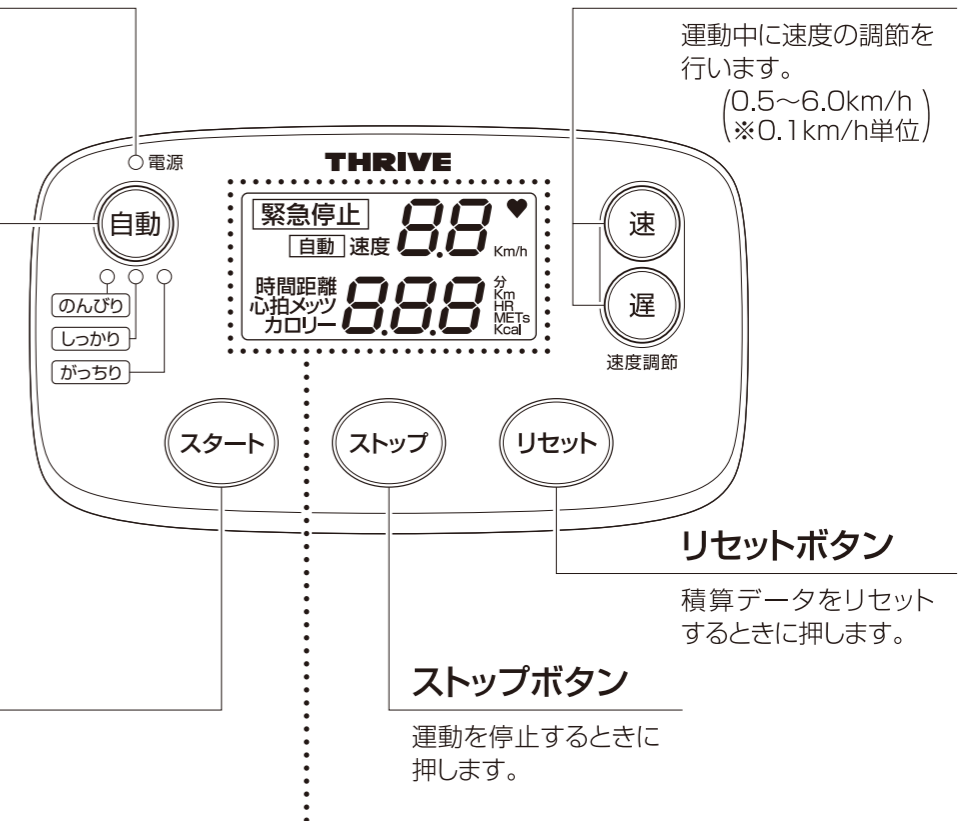
- のんびり  
散歩コース
- しっかり  
ウォーキングコース
- がっちり  
早歩きコース

### スタートボタン

運動を開始するときに押します。

### 速度調節ボタン

運動中に速度の調節を行います。  
(0.5~6.0km/h)  
※0.1km/h単位)



### 時間 分

運動の経過時間を表示します。  
※30分で自動停止します。

### 距離 km

歩行距離を表示します。

### 心拍 HR

心拍数を表示します。  
●P11「心拍トレーニング」参照

### メッツ METs

速度調節時・自動コース選択時  
対応するMETsの値を表示します。  
●P12「METsについて」参照

### カロリー kcal

運動中の消費カロリーを表示します。  
※体重60kgの設定で計算しています。  
※同じ運動をしても、人によって消費カロリーは違います。  
メーターの表示はあくまで一般的な目安としてください。





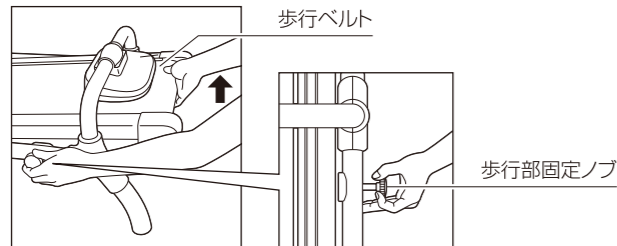
# トレーニングの前に

## 警告

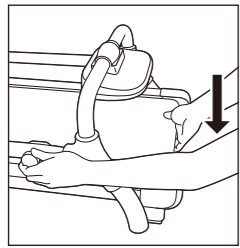
作業する際は周りに人がいない状況で行ってください。  
全ての手順に手や足の巻き込みやはさまれのおそれがあります。

## 組み立て方法

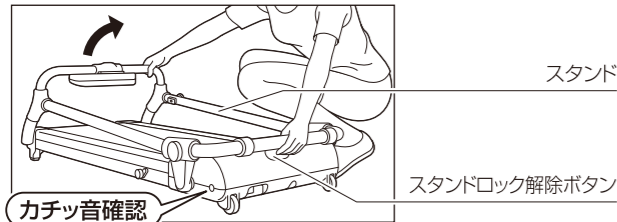
1. 歩行部固定ノブをゆるめ、引いた状態で歩行ベルトをこころもち上げるとノブがはずれます。



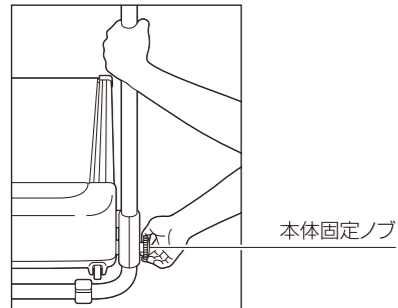
2. 歩行ベルトを床にゆっくり降ろしてください。



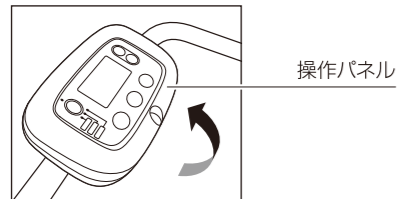
3. スタンドロック解除ボタンを押しながらスタンドを起こしてください。右側の本体固定ノブが本体にセットされるカチッ音を確認してください。



4. 2本の本体固定ノブは赤い部分がすべてスタンドに入るまで締めこんでください。

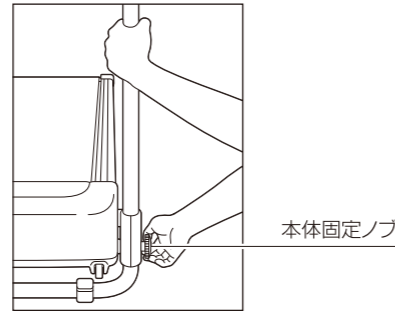


5. 操作パネルを回転させ適切な角度に調節してください。

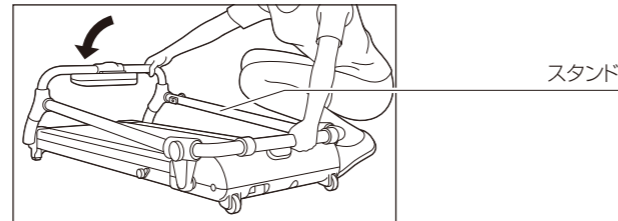


## 折りたたみ方法

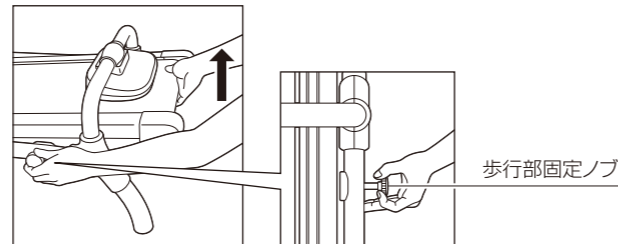
1. スタンドを支えながら2本の本体固定ノブをゆるめてください。



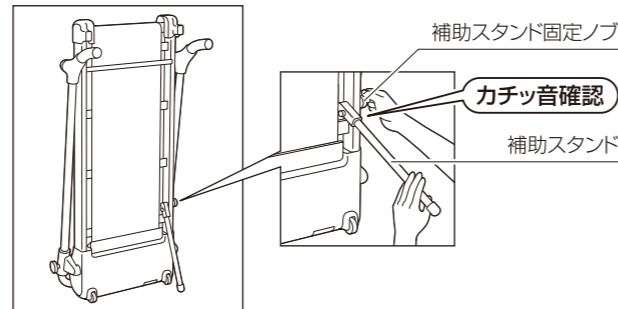
2. スタンドを床にゆっくり降ろしてください。



3. 歩行ベルトを持ち上げ、歩行部固定ノブを歩行部に締めこんでください。



4. 補助スタンド固定ノブをゆるめて引き出し補助スタンドを出してください。補助スタンドが補助スタンド固定ノブにセットされるカチッ音を確認してください。確認後、補助スタンド固定ノブを締めこんでください。



## 設置のしかた

**注意** 設置の際は手足・指を挟まないように注意する。

### 設置場所について

次のような場所への設置は避けてください。

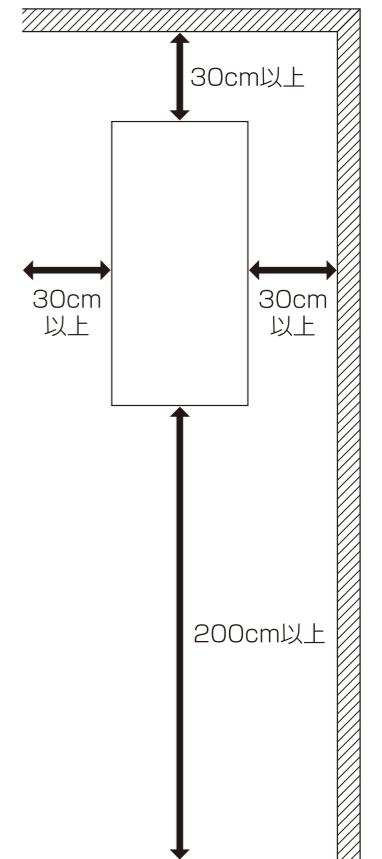
- 設置場所の床強度が弱い場所。
- 屋外および直射日光があたる場所。
- 高温多湿の場所。
- 傾斜がある場所。
- 設置後、周囲にスペースがなくなる場所。

また、本製品の設置場所は使用者の安全を確保するために十分に広い場所を設け、ウォーカーの周囲、特に後部には使用者の転倒にそなえて厚手のマットなどを敷き、事故防止が配慮されている場所をお選びください。また、畳やフローリングなど傷つきやすい床で使用する場合は、マットなどを敷きホットカーペットなどの暖房器具の上に設置しないでください。

### 設置スペースについて

前方30cm以上、後方200cm以上、左右それぞれ30cm以上のスペースを確保できる場所に設置してください。

**注意** 設置をするときは、必ず歩行ベルトの下や周囲に人やペットがいないことを必ず確認する。また、設置が完了するまで電源を入れない。守らないと事故やけがのおそれがあります。

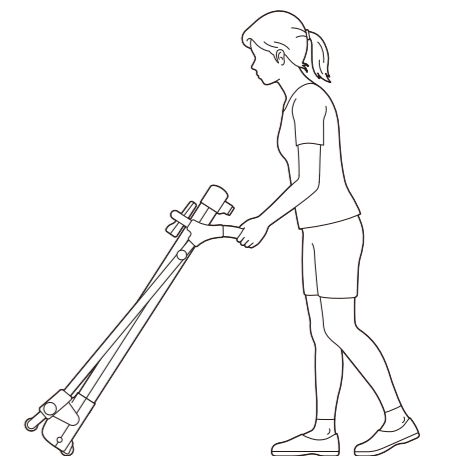


## 移動のしかた

- 畳やフローリングなど傷つきやすい床の上で移動させる場合はマットなどを敷いてから移動させてください。
- 人や物を乗せたまま移動しないでください。

1. 本体を折りたたんだ状態で、歩行部と歩行部固定ノブが固定されている事を確認してください。
2. 両ハンドルをしっかりと持ちキャスターでゆっくり前後に移動してください。

**注意** 歩行部と歩行部固定ノブが固定されている事を確認してから移動する。守らないと歩行部がはずれて転倒し、事故やけがのおそれがあります。



## ご使用の前に

- 電源コードは確実に接続されているか確認してください。
- スイッチが正しく動作するか確認してください。
- 本体支柱固定ボルトで本体がしっかりロックされているか確認してください。

# 使用方法

## 電源の入れ方

1. 電源プラグを差し込む前に、電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。
2. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。(電源コードが抜け落ちないように確実に接続する)
3. 電源スイッチを「ON」にしてください。操作パネルの電源ランプが点灯します。

## トレーニングを開始する

1. 安全キーを操作パネル中央の安全キーセット位置にセットし(図1)安全クリップを胸元あたりに取り付けます。(図2)



本製品はマグネット式の安全装置により、トレーニング中の予期せぬ事故などが発生したとき、安全キーが外れることで速やかに速度を落として停止することができます。トレーニングを行うときは、必ず安全キーを装着してください。

図1

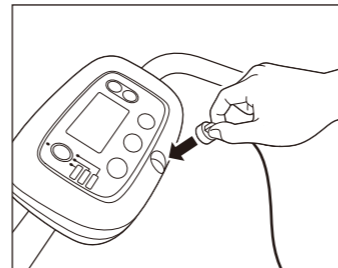


図2



### 2【ノーマルモードでトレーニングする場合】

●(スタート)を押してください。歩行ベルトが0.8km/hの速さで動きだします。速度調節ボタンで速さを調節してください。

- 速度は(速)(遅)を押すたびに、0.1km/hずつ調節できます。(0.5~6.0km/h)

### 3【自動モードでトレーニングする場合】

●(スタート)を押してください。

歩行ベルトが0.8km/hの速さで動きだしますので続けて

(自動)を押してください。

ボタンを押すごとに[のんびり→しっかり→がっちり]の順番にコースが切り替わりそれぞれのランプが点灯します。

- ◎のんびり：散歩コース 2.0km/h~3.5km/hの速さで加速・減速をくり返します。
- ◎しっかり：ウォーキングコース 2.5km/h~4.5km/hの速さで加速・減速をくり返します。
- ◎がっちり：早歩きコース 3.0km/h~6.0km/hの速さで加速・減速をくり返します。
- 自動モードでトレーニング中、速度ボタンを押すとノーマルモードに切り替えることができます。このときいずれも速度が2.0km/hになります。

4. トレーニングを中止したいときは(ストップ)を押してください。歩行ベルトが停止します。

トレーニングを急いで中止したいときには「安全キー」のひもを引っ張り「安全キー」を外すと、歩行ベルトが緊急停止します。

- はじめて使うときは遅い速度を数分体感してから自分に合った無理のない運動量を設定してください。速い速度での運動は十分慣れてから行うようにしてください。



本製品は歩行用です。早歩きで使用されるには問題ありませんが、走行されるとモーターに負担がかかり、故障の原因になることがありますのでおやめください。また、トレーニング中は必ずハンドルを持ってください。守らないと転倒による事故やけがのおそれがあります。

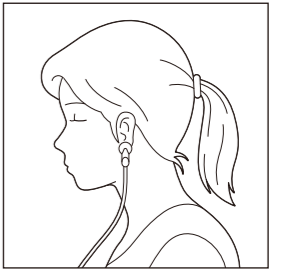
## オートタイマーについて

使いすぎや切り忘れを防止するため、動作開始から約30分で自動的に止まります。

## リセットについて

下記の場合に数値がリセットされます。

- (リセット)を押したとき。
- 電源スイッチを「OFF」にしたとき。
- 時間(999分)・距離(99.9km)・カロリー(999kcal)のいずれかの表示がオーバーフローしたとき。  
※アラーム音と共に、5秒間表示が点滅し積算データがリセットされます。



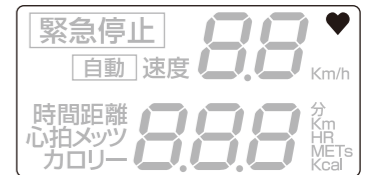
## 心拍センサーについて

心拍センサーを装着することで、トレーニング中の心拍数を表示することができます。

耳たぶに心拍センサーを装着してください。(右図)

心拍を感知すると表示メーター上にハートのマークが点滅します。

- 心拍を感知しにくいときは、耳たぶをもみ、血行を良くしてください。



## ご使用前の注意

※安全のため毎回、ご使用前に同じ確認をしてください。

### 歩行ベルトの確認

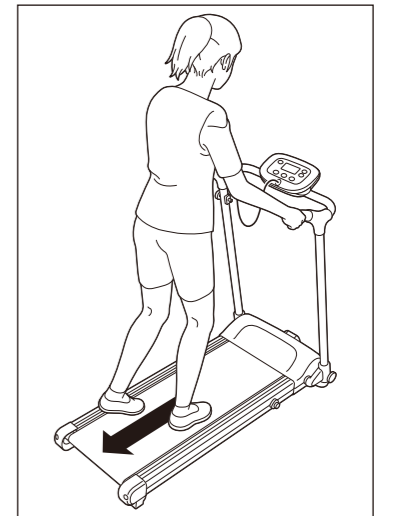
輸送中やご使用によってベルトがたるんでいる可能性があります。必ずベルトがたるんでいないかご確認ください。

#### 確認方法

低速(1km/h)の状態でもベルトの上に乗る、ベルトに抵抗を加えて滑らないか確認してください。

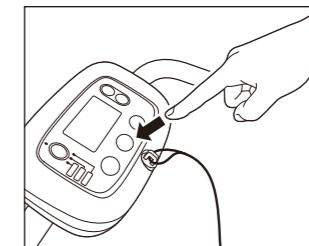
#### 調整方法

ベルトの調整方法はP13の「歩行ベルトの調整方法」をご参照ください。

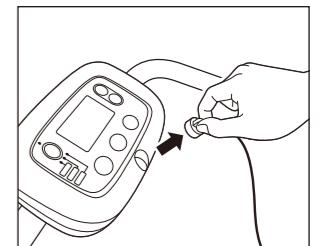


### 停止時のタイミング

ストップを押したときや安全キーをはずしたときにどの程度で止まるかをご使用前に確認してください。



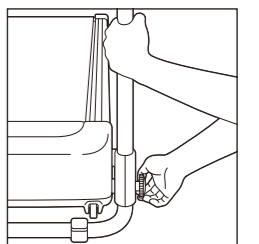
ストップボタンをおしたとき



安全キーをはずしたとき

### 本体固定ノブの確認

ご使用前には、必ず本体固定ノブが固定されていることを確認してください。



## 使い終わったら

1. (ストップ) を押して歩行ベルトを止めて安全クリップをはずしてください。
2. 電源スイッチを「OFF」にしてください。
3. 電源プラグをコンセントから抜いてください。

## お手入れについて

**注意** お手入れの際には、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体・操作パネル・安全キー・心拍センサー — 乾いた布で汚れをふき取ってください。  
シンナー、ベンジン、熱湯は使用しないでください。  
変色、変形の原因になります。

## 保管について

汚れやホコリを取った後、カバーをかけて保管してください。  
その際、直射日光が当たる場所や高温・多湿な場所は避け、本製品でつまずかないよう、  
またお子様が勝手に触れることのない場所に置いてください。

## トレーニングについて

「おうちウォーク」をより効率良く、効果的にご使用いただくために適した運動方法を紹介します。  
下記を参考に、自分にあったトレーニングを実践してください。  
また、トレーニングの前後にストレッチ・ウォームアップ・クールダウンを行い、  
急激な運動を避け、決して無理のないトレーニングを心がけてください。

### 心拍トレーニングについて

有酸素運動で効率的に体脂肪を低下させるには適度な運動強度で一定時間持続することがポイントになります。  
心拍数を基準とする心拍トレーニングでは、適度な運動強度を確認することができ、  
効率的に脂肪を燃焼させるだけでなく体にかかる負担を一定に保ち続けることができます。  
心拍トレーニングを開始するにあたり、下記の【目標心拍数】を参考にしてください。

#### 目標心拍数

$\{(220 - \text{年齢}) - \text{安静時心拍数}\} \times 0.5 + \text{安静時心拍数}$

※安静時心拍数…朝起きてすぐ起き上がる前に測定した1分間の心拍数

目標心拍数計算値(参考)

		安静時心拍数(/分)						
		40	50	60	70	80	90	100
年齢 (歳)	20	120	125	130	135	140	145	150
	30	115	120	125	130	135	140	145
	40	110	115	120	125	130	135	140
	50	105	110	115	120	125	130	135
	60	100	105	110	115	120	125	130
	70	95	100	105	110	115	120	125
	80	90	95	100	105	110	115	120

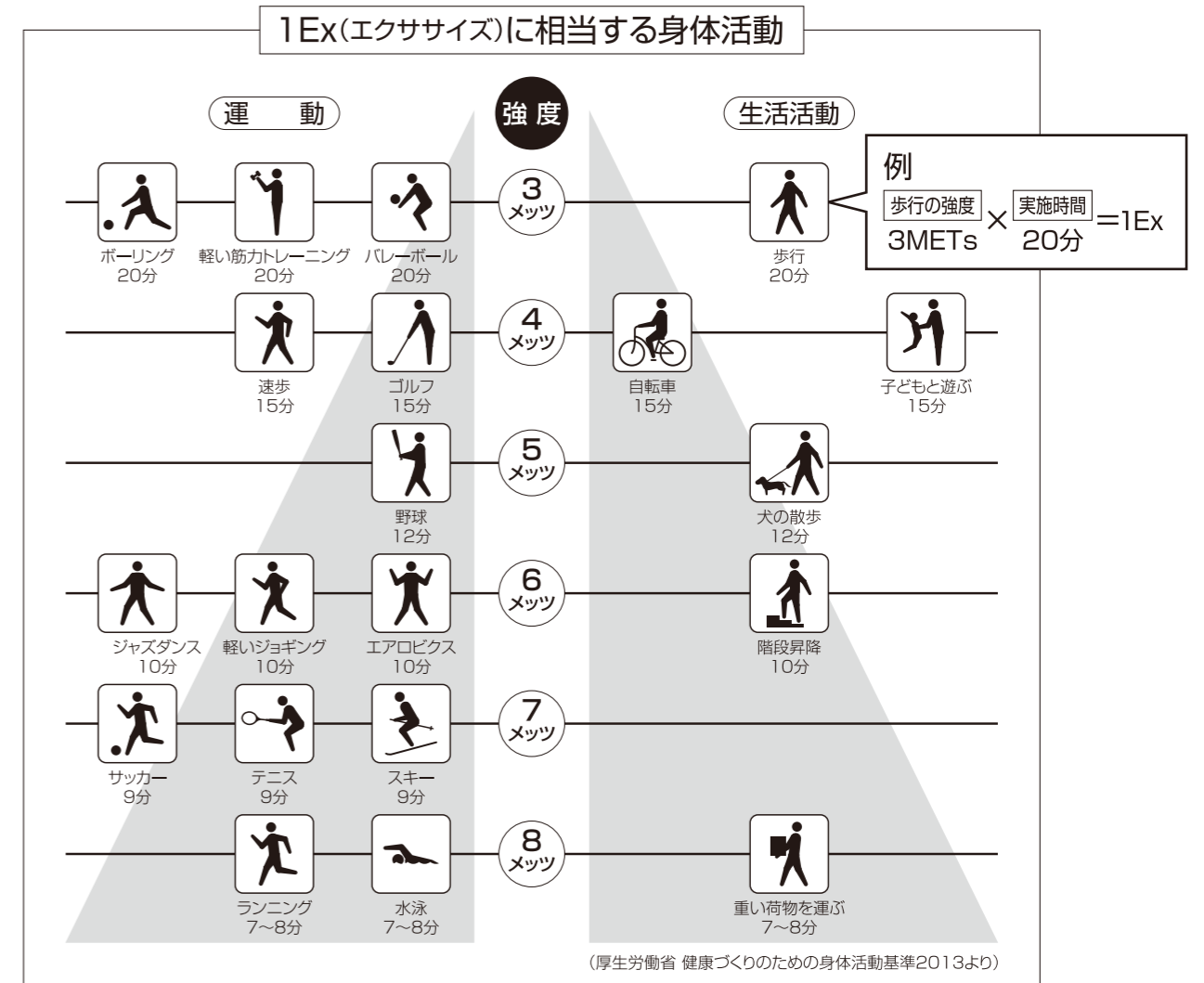
## METsについて

**METs(メッツ)** 身体活動の強度の指標となる単位

身体活動の強度が安静座位(1METs)の何倍に相当するかで表します。

**Ex(エクササイズ)** 身体活動の量の指標となる単位

Ex=身体活動の強度(METs)×実施時間

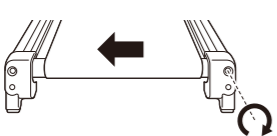
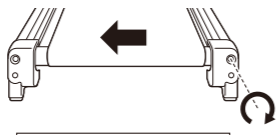




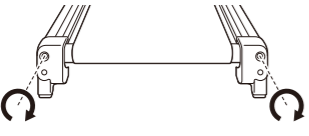
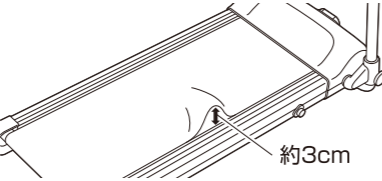
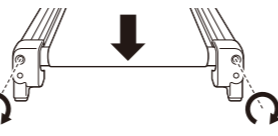
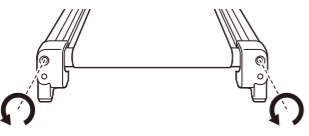
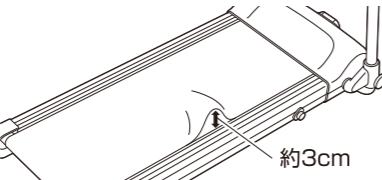
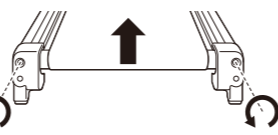


厚生労働省では、運動と家事や仕事などの生活活動を合わせて週23Ex(エクササイズ)以上行うことを提唱しています。

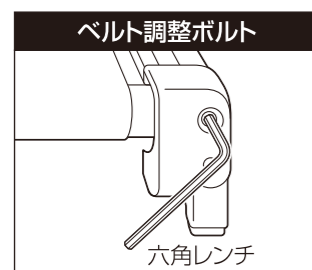


## 歩行ベルトの調整方法

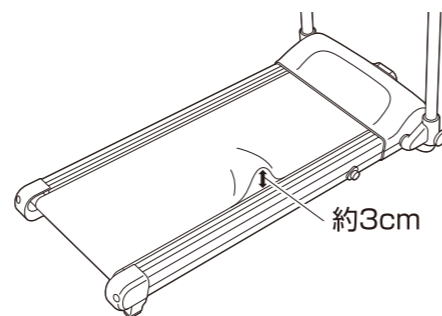
通常の作動音以外の音が発生した場合、ベルトの片寄りやベルトの縁が擦れている場合があります。そのときは付属の六角レンチでベルトの片寄りを調節してください。

ベルトが右に寄る場合	①右側の調整ボルトを工具で時計回りに45°締めます。歩行ベルトを回すと、ベルトは左へ寄っていきます。	②歩行ベルトを回しても、ベルトが中央へ寄らない場合は、さらに時計回りに45°締めてください。	③歩行ベルトが中央付近へ戻ってきたら、調整ボルトを反時計回りに少し緩めます。
			
		中央へ寄らない場合はこの作業をくり返します。	調整ボルトを緩めないとベルトは左側へ片寄ってしまいます。
ベルトが左に寄る場合	①左側の調整ボルトを工具で時計回りに45°締めます。歩行ベルトを回すと、ベルトは右へ寄っていきます。	②歩行ベルトを回しても、ベルトが中央へ寄らない場合は、さらに時計回りに45°締めてください。	③歩行ベルトが中央付近へ戻ってきたら、調整ボルトを反時計回りに少し緩めます。
			
		中央へ寄らない場合はこの作業をくり返します。	調整ボルトを緩めないとベルトは右側へ片寄ってしまいます。
ベルトがたるんでいる場合	①左右の調整ボルトを工具で均等に時計回りに45°締めます。	②調整後はベルト全体が板から少し浮き上がった状態で、ベルトの中程をつまみ上げ約3cm程度持ち上がるか確認してください。	③それでも歩行ベルトがたるんでいる場合はさらに均等に時計回りに45°締め、ベルトの張りを確認してください。
			
		約3cm	適度な状態になるまでこの作業をくり返します。
ベルトが張り過ぎている場合	①左右の調整ボルトを工具で均等に反時計回りに45°緩めます。	②調整後はベルト全体が板から少し浮き上がった状態で、ベルトの中程をつまみ上げ約3cm程度持ち上がるか確認してください。	③それでも歩行ベルトが張り過ぎている場合はさらに均等に反時計回りに45°緩め、ベルトの張りを確認してください。
			
		約3cm	適度な状態になるまでこの作業をくり返します。

- ベルトの調整後は空回しを行い、歩行ベルトが安定している状態を確認してください。
- ベルトが片寄る場合には、再度ベルトの調整を手順①から行ってください。



※適度なベルトの張り具合は、ベルト全体が板から少し浮き上がった状態で、ベルトの中ほどの端をつまみ上げ約3cm程度持ち上がる状態です。あまり張りすぎると、ベルトの寿命を縮めたり、ベルト切れの原因にもなりますのでご注意ください。



**注意** ベルトの回転をスムーズにするため、ベルトのスリップや急停止を感じられますようになりましたら、シリコンオイルを塗布してください。(P14「シリコンオイルの塗布について」参照)

## シリコンオイルの塗布について

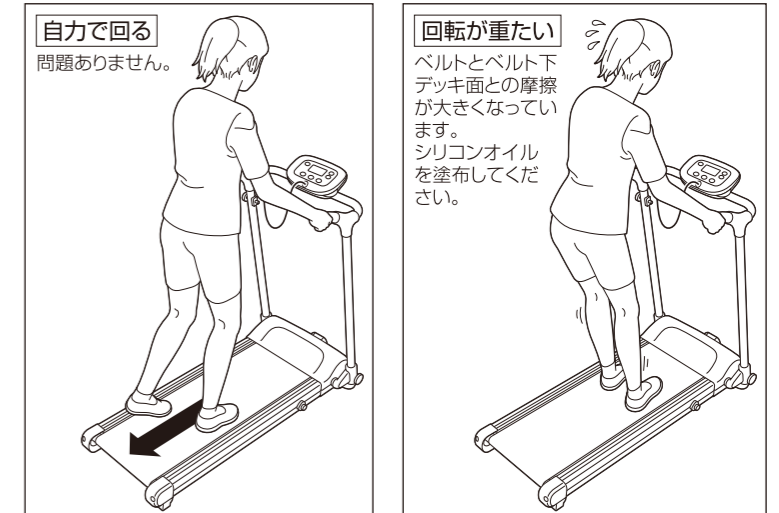
歩行ベルトの回転が鈍くなってくると、モーターにかかる負担が大きくなり、故障の原因になります。以下の手順でベルトの回転(滑り)の確認・メンテナンスを行ってください。

### 確認作業

以下の場合、シリコンオイルを塗布する必要があります。

- 人が乗っていない状態と比べ、人が乗ると極端にベルトの回転速度が遅い。
- 電源を切った状態で自力でベルトを回したとき、回転が非常に重たく感じる。

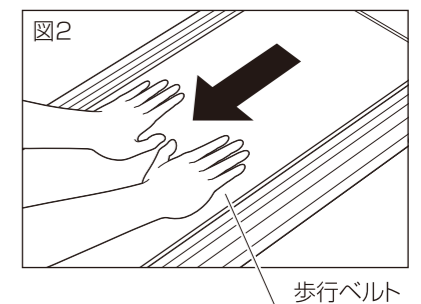
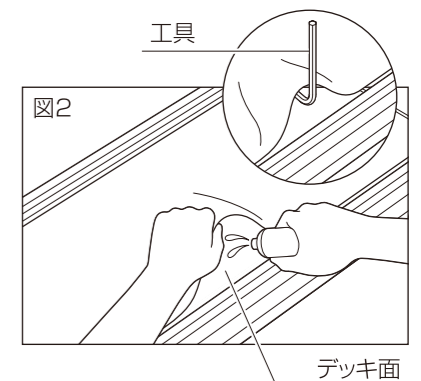
自力でベルトを回したときには、モーターによる抵抗があります。(購入当時のベルトの滑り具合は正常です。)ベルトの回転に抵抗があっても、自力で回る分には問題ありません。



### シリコンオイルの塗布方法

歩行ベルト下のデッキ表面の摩擦を取り除くために、シリコンオイルを塗布してください。

- 1.歩行ベルトを少し持ち上げ、シリコンオイルをベルトの下のデッキ面に塗布します。左右それぞれから行ってください。(図1)  
※歩行ベルトが持ち上げにくい場合は、工具などを使ってください。
- 2.人が乗っていない状態で歩行ベルトを低速で回転させ、ベルト表面を手で押さえて、デッキ面全体にシリコンオイルを塗り広げていきます。(図2)
- 3.再度、電源を切った状態で自力でベルトを回し、ベルトの回転(滑り)が改善されていることを確認してください。



### シリコンオイルの塗布についての注意点

- 出荷時にはシリコンオイルは塗布されています。購入当初からシリコンオイルを塗布する必要はありません。
- シリコンオイルの塗り過ぎにご注意ください。シリコンオイルを多量に塗布すると、ベルトの空回りなど、故障の原因になります。

シリコンオイルの塗布時期は、4~6ヶ月毎が目安となります。

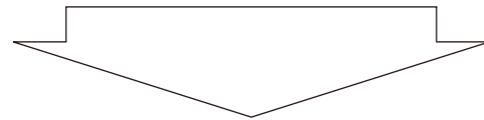


## 故障かなと思ったら

機器に故障が発見された場合は使用をただちに中止し、電源スイッチを切り、お買い上げ販売店またはお客様ご相談センターに点検、修理を依頼してください。

症 状	点検箇所と処置
動作しない	電源プラグが抜けていませんか 電源スイッチが切れていませんか 安全キーが正しくセットされていますか オートタイマーが動き停止状態になっていませんか
動作中のモーター音や機械音	モーター音やベルトの継ぎ目がローラーを通過するときの摩擦音で、機能等に影響はありません 歩行ベルトは片寄っていませんか

症 状	処 置
連続使用後に動作が止まる	モーターの温度上昇のため、安全装置が働いています 冷却時間(2時間程度)をおいてください モーター部が冷えれば正常な状態に戻ります



上記点検後なお異常音、動作しないなどの異常を感じたらただちに使用を中止してください。  
電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店またはお客様ご相談センターに点検、修理を依頼してください。

### 安全装置について

歩行ベルトに無理な力がかかると安全装置が動き動作が止まる場合があります。そのときは一度電源を切り、少し置いてから再度電源スイッチを入れてください。

## 愛情点検について

しばらく使用しなかった機器を使用するときは、使用前に機器が正常に作動することを確認してください。

 愛情点検	<p>このような症状はありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● こげくさいにおいがする</li> <li>● 電源コード、プラグが異常に熱い</li> <li>● コードを動かすと通電したり、しなかったりする</li> <li>● その他異常がある</li> </ul>		<p>故障や事故防止のため使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げ販売店またはお客様ご相談センターに点検・修理をご相談ください。</p>
----------	---	--	---

## 仕 様

販売名	スライヴ 電動ウォーカー おうちウォーク FD-081
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
定格入力	450W
定格時間	30分
オートタイマー	30分
適応体重	100kg
スピード	0.5~6.0km/h
歩行面角度	2.5°
外形寸法	組立時 幅 約59cm×奥行き 約118cm×高さ 約106cm 収納時 幅 約59cm×奥行き 約116cm×高さ 約32cm
質量	約23kg
電源コード長さ	約2m
材質	歩行ベルト:PVC樹脂 グリップ:NBR樹脂 操作パネル:PP樹脂 ホイールカバー:ABS樹脂 パイプ:スチール
付属品	安全キー・心拍センサー・六角レンチ

## アフターサービスについて

- 保証書(裏表紙)  
保証書は所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間中に修理を依頼される場合  
保証書の記載内容に従って修理いたします。
- 保証期間を過ぎて修理を依頼される場合  
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 補修用性能部品の最低保有期間  
当社は補修用性能部品の製造打ち切り後最低6年間保有しております。  
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- その他ご不明な場合  
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げ販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

地球の環境保護のため、廃棄するときはそのまま放置しないで各自治体の取り決めにしたがってください。

# お客様ご相談センターのご案内

商品の返品・返金などについては、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

## 商品のお取り扱い方法、修理などのご相談は

フリーダイヤル  **0120-064-762**

※お客様がご加入されている電話(NTT以外の一般回線、PHSおよびIP電話など)によっては、ご利用できない場合がございます。

上記番号がご利用できない場合は下記番号にお問い合わせください。

**TEL 086-722-5110**

**FAX 086-722-3874**

岡山大東電機工業株式会社

〒709-3104 岡山県岡山市北区建部町角石谷 1503-1

**【受付時間(祝日を除く月～金)9:00～17:00】**

都合によりお休みさせていただくことがあります。

### お客様の個人情報のお取り扱いについて

お客様よりお知らせいただいた氏名・住所などの個人情報は、当社商品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。なお、お客様の個人情報は弊社で責任をもって管理し、第三者への開示や他の目的には使用いたしません。

## 〈無料修理規定〉

1. 保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げ販売店又は、P17のお客様ご相談センターが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、商品と本書をご用意の上、お買い上げの販売店又は、P17のお客様ご相談センターに依頼してください。
3. ご転居の場合には事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合には、P17のお客様ご相談センターへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
  - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障及び損傷
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
  - (ニ) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷
  - (ホ) 本書の提示がない場合
  - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
  - (ト) 指定外電源(電圧・周波数)使用による損傷
6. 本書は国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。  
保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は、P17のお客様ご相談センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくはP16をご覧ください。

**お客様ご相談センター**

〒577-0026 東大阪市新家東町2番38号 TEL.06-6783-8627

**製造販売元**

**大東電機工業株式会社**